

コミュニティ壬生野 第42号

壬生野地域まちづくり協議会広報

2008(平成20)年11月1日発行

壬生野まつりを開催しました!!

10月5日(日)、今年で4回目となる壬生野まつりを開催しました。当日は朝から小雨模様となりましたが、終日400名余りの多くの皆様方にご来場をいただきました。作品展では、日頃の丹精こめた盆栽、生花、手芸、写真、絵画、陶芸、俳句、書道などの出品や壬生野小学校全児童の創造性豊かな絵画などが会場を埋め尽くしました。イベントでは、窓口運営コーナーのお茶、コーヒー、梅ジュースのサービスやシオリづくりの体験、産業交流コーナーでは、地元米による昔風の餅つきの実演、健康福祉コーナーでは体脂肪、血圧、脈拍などの健康チェックや午後からは、伊賀消防署によるAEDを使用した心肺蘇生術の講習、また、人権・同和コーナーでは、異文化交流として、昨年に引き続き、ブラジル、ペルーの方々の歌や楽器演奏、ブラジル移民100年に関するパネルを展示、そのほか、特売コーナーでは、新鮮な野菜、玉子、牛乳、お菓子などを販売しました。

今年の壬生野まつりも、皆様方のご理解とご協力のお陰をもちまして、成功裡に終えることができ、ありがとうございました。厚くお礼申し上げます。



※ なお、第4回壬生野まつりの記録写真は、後日、壬生野地域まちづくり協議会のホームページに掲載する予定です。

壬生野地区市民センター開設にあたり「人権高座」を開催します

壬生野地区市民センターが、12月1日（月）にオープンする予定です。そのオープンにあたりまちづくり協議会では、「人権高座（人権落語）」を開催します。この講演は、「伊賀市差別をなくす強調月間」中でもあり、広く市民の皆様の人権を身近に感じてもらうことを目的としています。

開催日時 2008年12月1日（月）19：00 受付 19：30 開演

開催場所 壬生野地区市民センター（伊賀市川東）

講師 露の新治（落語家）

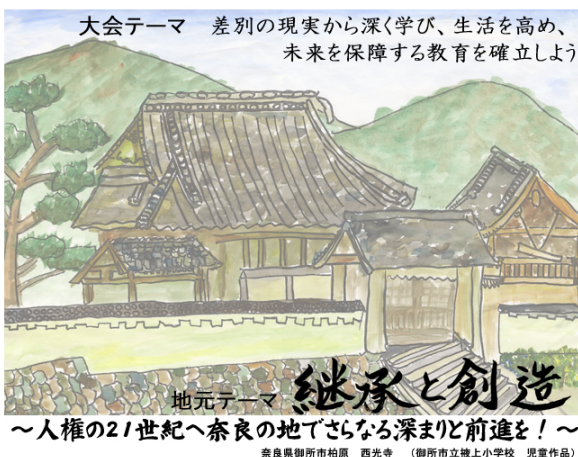


プロフィール

元来、落語家になりたかったが、「芸人は堅気（かたぎ）の仕事ではない」とのこだわりから、サラリーマンやら家業の手伝いをするが、奈良の夜間中学設立運動に関わり、「やりたいことをやるべきだ」と教えられ、落語家となる。また夜間中学設立運動に関わる中で学んだ人権感覚を生かして、「新ちゃんのお笑い人権高座」を口演（大好評）。日本全国、北は北海道から南は九州鹿児島まで（本当に！）、人権講演会で駆け回っています。

主催 壬生野地域まちづくり協議会 人権・同和委員会

第60回全国人権・同和教育研究大会参加者募集!!



全国人権・同和教育研究大会は、私たちの地元「いがまち同和教育研究会」の上部組織にあたる全国同和教育研究協議会が主催しています。

今年度は、近隣である奈良市周辺で開催されますので、壬生野地域の皆様のご参加をお願いします。

開催日時

2008年11月29・30日（土・日）の2日間
（1日だけの参加も可能です。）

開催場所 奈良県奈良市周辺

移動方法 鉄道、シャトルバス、徒歩

集合・解散 1日目 11月29日（土）新堂駅7：00 集合、18：35 解散
2日目 11月30日（日）新堂駅7：00 集合、17：00 解散

参加費 交通費1,500円程度（新堂・奈良往復820円＋シャトルバス）

参加ご希望の方は、人権・同和、人権研修合同委員会書記 山本真司（090-3254-2017）までご連絡下さい。

※できごとウォッチング※

壬生野小学校で稲刈りの体験

10月3日（金）、5月に田植えをした稲が実り、収穫の日を迎えました。田植えをしてから今まで、川東の南出さんや五百田さんにお世話になりながら、この日、稲刈りの体験をさせていただきました。子どもたちは、慣れない手に鎌を持ち、一株ずついねいに稲を刈り取って行きました。どの子も自分の手で刈り取った稲に大満足です。貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。



<子どもたちの感想>

♪ 今日、稲刈りをしてみて、思っていたより大変でした。体力もいるし、足も泥田にとられるので、農家の人はすごいなあと思いました。でも、今は機械化されているので、便利になっています。脱穀機の中は、まるくなっていて、遠心力で米とわらに分けられるようになっていました。今は機械でも、昔は手でしていたので、昔の人はすごいと思いました。(野崎 まりん)

♪ 初めての稲刈りで、「かまで手を切ったら血が止まらない。」と言っていて、すごくこわかったけど、だれ一人けがをする人がいなくてよかったです。稲を刈ったとき、初めは、何回か切り直さなければ刈れなかったけど、少しずつ1回で刈れるようになって、うれしかったです。手で刈る作業はすごく足が痛くなかったけど、とてもいい体験をさせてもらって、楽しかったです。(服部 友紀)



♪ 今日、学校で育てていた米の稲刈りがありました。5月に植えたなえも、今年は天気がよくてりっぱに育ちました。ぼくの家も農業をしているので、手伝ったことはありますが、機械で刈るので最後まで手で刈ったのは初めてでした。友だちみんなと楽しく作業をしたので、つかれを忘れてたくさん刈ることができました。家に帰っておじいちゃんに話をすると、「りょう君らは刈り取るだけだったけど、他の作業はもっと大変なんだよ。」と、言われました。このお米でもちつきをして、食べるのがとても楽しみです。(若林 亮)

♪ 昨日5年1組と5年2組で稲刈りをしました。私は初めての稲刈りをしました。むずかしかったけれども、楽しく一生けん命にやれたので、すごくうれしかったです。稲刈りのと中で長ぐつから足が出て、ドロの中にくつ下ごと入ってしまい、そのまま長ぐつをはいたので、長ぐつの中がドロでグニャグニャになりました。とても気持ち悪かったけれども、気を落とさずに一生けん命に刈ることができました。「初めてにしては、うまくできたんじゃないのかな。」と、私は心の中で思いました。機械の工夫とかも分かったし、来年もやりたいなと思いました。最後まで気を落とさずに稲刈りができてよかったです。

(宮田 千佳)

春日神社 秋の大祭

秋晴れのなかで春日神社秋祭り

10月19日(日)は春日神社の氏子、三か字(川東区、川西区、西之澤区)のお祭りでした。

お米の採り入れも終わり、転作の大豆の葉が色づきはじめ、やがて麦の種を蒔く準備をしている田園風景のなか、春日神社の秋の祭りが開かれました。

この祭りは、最近では10月の第3日曜日に執り行われています。

拝殿での大祭儀式の前に、子ども神輿の巡回がありました。神輿は、

三か字の4年生以上の児童で構成され、氏子青年の方々の指揮のもと、各区を訪問してくれました。各家では、巡回の時間に合わせて、近くの路地に出て「おひねり」をささげ安全祈願をしました。

また、各区では、仮祭壇をつくり、お供え物をし、神主様から祝詞(のりと)を受け賜り、区長が代表して玉串をささげ五穀豊穡、安全祈願をしました。

お宮さんでは、こども相撲(中学生男子)や獅子舞が奉納され、太鼓や笛の鳴り響くなかで祭りが盛り上がりました。



ヤマギシだより — お芋掘り —

今年の秋も、さつまいもがたくさん穫れました。

10月中旬には、農業体験に訪れた滋賀県の障がい者施設の方々や、『幼年合宿』に参加した関西・中部の年長・年中の子どもたちと一緒に、お芋掘りを楽しみました。



《お知らせ》

秋バラは11月中頃までが見ごろです。

健康コーナー

～かかりつけ医を持ちましょう～

☆ かかりつけ医とは？☆

日常的な診療や健康管理等を行ってくれる身近なお医者さんの事を「かかりつけ医」と呼んでいます。大きい病院では待ち時間が長くかかる場合もあるので、家族でかかりつけ医を決めておくところちょっとした風邪等の病気の際に、かかりつけ医はとても便利です。

「普段健康だから、かかりつけ医なんていない」という方、引っ越してきたばかりでまだ決めていないという方でも、急な病気はもちろん、健康のこと、医学や医療のこと、些細なことも気軽に相談できる「かかりつけ医（ホームドクター）」を持つことをお勧めします。

☆ かかりつけ医のメリット☆

- ① 待ち時間が比較的短く、受診の手続きも簡単で、じっくり診察してくれる。
- ② 入院や検査などが必要な場合、適切な病院・診療科を指示、紹介してもらえる。
- ③ 家族の病状・病歴、健康状態を把握しているので、もしもの時に素早い対応をしてくれる。
- ④ 食事面等、日常の健康管理のアドバイスをしてもらえる。

☆ かかりつけ医を選ぶポイント☆

- ① 家のまわりで、近所の評判が良いところ。
- ② 患者の話をしっかり聞いてくれて、気軽に相談しやすい。
- ③ 病気、治療、薬などについて分かりやすく説明してくれる。
- ④ 必要に応じて、適切な専門医を指示、紹介してくれる。

☆ かかりつけ医のしくみ☆

精密検査や専門的な治療が必要になったとき、病院に行くこととなりますが、まず最初にかかりつけ医に相談してみましよう。かかりつけ医が適切な病院を紹介してくれます。

紹介してもらおうときには、かかりつけ医の診療情報（紹介状）を持参して診療するとスムーズに受診することができます。



編集後記

壬生野まつりも無事終わり、次の行事にと忙しい秋です。

山の木々も少しずつ色づき始め、ハイキングや旅行などが楽しめる季節です。

くれぐれも体調管理にはお気を付け下さい。

— 藪田きみ子 —

◇◇◇ご意見・お問い合わせは下記までお寄せ下さい◇◇◇

発行 壬生野地域まちづくり協議会 広報公聴実行委員会

事務局 三重県伊賀市川東 1659-5 壬生野福祉ふれあいセンター内

Tel・Fax 0595(45)6270 E-mail tokimeki@ict.ne.jp URL <http://www.mibuno.net>